

令和3年度 藤枝明誠高等学校 学校評価 ※評価基準 A：十分に実践されている B：ある程度実践されている C：不十分である D：わからない

教育目標	「学園は、教える者と教えられる者とが、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。					
経営方針	「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」「自然愛や人間愛を大切にする豊かな情操」を培う。また、日本人としての美德を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。					
重点項目	I 学習指導の充実 II 進路指導の充実 III 心豊かでさわやかな生徒の育成 IV 広報・渉外活動の充実 V 教育施設・設備の活用			<b>自己評価</b>		<b>学校関係者評価</b>
重点目標	項目	令和3年度具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標【 】は数値的目標	令和2年度実施結果 (成果は○、改善すべき事項は◇) ※丸数字は左欄丸数字の項目に対応	評価	教員コメント (66名) (評価理由・意見・改善内容・提案等)	評価 学校関係者評価委員コメント (8名) (評価理由・意見・改善内容・提案等)
I 学習指導 の充実	授業改善への取り組み	<p>①生徒の意欲が高まるような分かる授業を実践するとともに授業改善に努め、授業アンケートの結果向上を図る 【生徒の授業満足度(満足+どちらかといえば満足の比率)95%】 【授業満足度(生徒)と自己考査(教員)を年2回実施(予定)】</p> <p>②普通科と英数科、各クラス間、各教員間の指導の格差を改善し、指導を共通化する</p> <p>③定期テスト後に教科会議を開催し、学力定着度の検証及び教科指導の改善を行う</p> <p>④各教科、テーマを設定した研究授業を行う</p>	<p>①◇【生徒の授業満足度調査を1度行ったが、機器故障のため、集計作業未実施】</p> <p>②◇英数科と普通科の指導の共通化が進められているが、クラス間や教員間の指導の格差がまだまだ大きい。更に改善が必要である。</p> <p>③○教科会議を毎週行える状況(時間割)があり、指導の改善のための教科会議が実施されている。</p> <p>④◇感染症対策措置による休校のために授業時間が限られ、授業進度を優先したため、研究授業が充分には実施されなかった。</p>	<p>A 10. 6 %</p> <p><b>B</b> 69. 7 %</p> <p>C 18. 2 %</p> <p>D 1.5 %</p>	<p>・科・コースでのレベルの違いは多少あるとしても、そのクラスに応じた適切な指導ができています。</p> <p>・教科担当間で指導内容を合わせている。よいコミュニケーションが取れている。</p> <p>・計画し実施できているが、検証が足りない。なぜ弱いのか、どのようにできなかったのか、ベテラン教員の力を借り改善していきたい。</p> <p>・生徒がもっと興味や関心を持つような授業を展開する必要がある。寝てしまう、騒ぐというような状況を担当教員が作らないようにスキルアップするべきである。生徒のせいにしてほしくない(してはいけない)。</p> <p>・授業を分担する際、「普通科だから」「この科目は持てない」という発言をする教員がいるが、悲しい気持ちになる。教員免許を持っている以上、どのクラスであろうが、科目であろうが、有無を言わず担当すべきであるし、(せっかくの機会なのに)もつたいないと思う。生徒にとって、このようなモチベーションの教員はうれしくないと思う。自分自身、どんなクラスでも科目でも担当できる力を常に高めていきたい。成長できる前向きな機会であると考えたい。</p> <p>・普通科も英数科も両方の授業を受け持つことが必要だと思う。ベテラン教員も普通科の授業を受け持つことで、指導法の共有化が進むと思う。若手教員だけでなく、ベテラン教員も新しい指導法を学ぶ必要がある。「〇〇HRの授業は受け持てない」と教員が感じて敬遠していたら、改善されていかない。</p> <p>・研究授業は実施されていない。若手を中心にもっと実施しないと授業力向上につながらない。</p> <p>・授業が個々の力量に任せられている部分が大いと思う。本校の授業としてどうするのか、お互いの授業を見せ合う機会を設定するとか、他校の授業を見る機会を提供するとかして、更に授業改善に臨み(取り組み)たい。</p> <p>・教科ごとに研究授業や公開授業を行い、切磋琢磨しあえる教員集団であってほしい。</p> <p>・若手教員の授業を見て、それに対しての指導等を行う機会が全くない。</p> <p>・若手教員に対する研究授業はせめて年1回、または数年に1回でも実施すべきである。</p> <p>・(教科)会議は実施されるが、(今のよう)な会議では若手教員の指導力改善(向上)につながらない。</p> <p>・受験に関係がない教科だからといって、教える教員が手を抜くのはおかしい。</p> <p>・教科会議はほとんどが入試問題検討に使われている。</p> <p>・教科によって教員一人当たりの授業時間数が大きく異なる。十分な教材研究ができるように教員数等を考えてほしい。また、授業内容を詰め込めばいいというものではない。質が大切だと思う。年間行事やカリキュラムの見直しが必要である。</p> <p>・指導法の共有など、もっとあってもよいと思う。また、教員一人当たりの授業時間数が多くなりすぎないようにしてほしい。</p> <p>・各教科とも、中期・長期の目標やねらいが共有できていない。指示のない自習や(授業進度・内容等)計画通りに進んでいない教員が多い。特に若い教員。</p> <p>・一つの科目を複数の担当教員で授業を行うことがあるが、個人プレイ(打ち合わせ外のこと)をする教員もいる。教科の中でも連携が取れるようにしたい。</p> <p>・授業アンケートはLarkを使って行ったが、結果がどうなったのかは伝えられていない。</p> <p>・授業アンケートの集計未実施はわざわざ時間と手間をかけただけによくない。</p> <p>・オンライン授業の導入を促進させたい。</p> <p>・ICTや電子機器の導入が始まっているが、まだ十分に生かされていない。使い方を見直せば、教員ももう少し効率よく作業ができると思う。また、生徒の電子機器の使用に関して校則やルールを見直すべきではないか。</p> <p>・コロナ禍における体育の授業内容の研究・検討が必要である。</p> <p>・教科担当(課題の提示)と担任(確認と促し)が協力して、生徒の学力向上に努めたい。</p> <p>・普通科・英数科間の授業(内容)の大幅なギャップを感じる。</p> <p>・クラス間の差が存在するのは仕方ないが、向上への努力は必要である。</p>	<p>A 12. 5 %</p> <p>B 87. 5 %</p> <p>C 0 %</p> <p>D 0 %</p>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科の授業を改善していくことが必要である。学力不足が著しい。教科という枠でなく、学校全体で検討していくべきである。指定校推薦ありきの授業になっており、教員も易きに流れている感がある。ゴールイメージを持って卒業時にどのような力をつけさせるかを真剣に考える必要がある。また、若手を育てる手立てもないため、若手教員の指導力が向上している様子が感じられない。</li> <li>・成績上位の生徒の引き上げをもっと工夫すべきであった。</li> <li>・英数科生徒の学力が下がってきている今だからこそ、厳しく指導していく必要があると思う。</li> <li>・全体の学力低下に対して対策を講じる必要がある。教科ごとで科・コースに合わせた指導方法の明誠メソッドを確立していきたい。また、インプット偏重の詰め込む教育とアウトプット重視のアクティブラーニング型指導のバランスを各教科で考えなければいけない。</li> <li>・年々生徒の学力格差が大きくなっていく中で授業の質を保つのは大変なことである。その点において本校の個々の教員は頑張っている。</li> <li>・数学に関しては、理系・文系の学力差と英数科・普通科の学力差を混同しないようにして、教科書の統一等を検討しないと「共通化」は難しいのではないかと。現実的に考えると、普通科においてグループ分けをし、可能な限り英数科と同レベルの授業を行う生徒を選抜していくほかないと思う。クラス間の差は小さいので3年間で学ぶ内容(レベル)ごとに早いうちから分けてしまうのも一つの方法かもしれない。</li> <li>・2単位の授業で時間不足となってしまう。例えば、高3政経は毎年10時間程度、最低でも補講で授業不足分を補っている。授業配信で補えるかという、生徒の様子から無理だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英数科の生徒が勉強に集中できる環境もあると思う(教室配置など)。部活に集中できる環境は整っているが。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学力の定着と向上に向けたきめ細やかな指導</p>	<p>①放課後プロジェクトや「9時まで学習」の一層の活性化を図る 【9時まで学習参加率65%以上目標】</p> <p>②予習、復習、宿題の提出・点検指導等の徹底を図る</p> <p>③英語検定指導等を継続して組織的に行う 【英検2級250名以上、準1級20名以上】</p> <p>④学力の基礎である国語力(文章読解や表現力)の向上のための取り組みを行う 【論理エンジンの有効活用・指導】</p> <p>⑤国際教養教育を推進する</p> <p>⑥普通科生徒の学力・学習意識向上のための指導を実施する</p> <p>⑦大学入試共通テストに対応した問題を定期テストに導入する</p> <p>⑧不測の事態により休校となった場合でも、インターネットを利用した授業配信が実施できるように環境を整備し、配信を実施して学力の定着と向上に努める。</p>	<p>①◇図書室における放課後プロジェクトの参加は前年並みであった。</p> <p>○例年以上に職員室及び職員室前フロアで、積極的に個別指導を受ける生徒は増加した。</p> <p>○「9時まで学習」の参加率は、69%で前年度の61%より増加した。特に今年度は国語・数学において特別補講を実施したことも参加者増の要因だと考えられる。</p> <p>②○各教科・各学年において、きめ細かな指導が実践された。各教科では、同学年の各科・各コースの担当者間での連携が取れていた。また『明誠ダイアリー』を利用した学習習慣確立のための指導が各クラスで実施された。</p> <p>③○【英検2級既取得者数297名、準1級既取得者数名】1級・2級ともに既取得者が増加しており、英語の学力が全体に底上げされている。</p> <p>④○論理エンジンによる指導が実施されているが、引き続き国語力向上に努めたい。</p> <p>⑤◇ドリーム・ゲイトウェイ・プログラムは実施されたが、感染症拡大により国外からの教育訪問団との交流は実施されず、ローカルな視点の涵養が充分にはなされなかった。</p> <p>⑥○土曜日を利用した教科横断型授業を高3総合コースで実施し、生徒の学習に対する意欲の向上にある程度貢献できた。</p>	<p>A</p> <p>12.1%</p> <p>B</p> <p>75.8%</p> <p>C</p> <p>7.6%</p> <p>D</p> <p>4.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「9時まで学習」や英検指導など参加生徒も多い。多くの教員が関わり、良い方向に進んでいる。</li> <li>・英語科教員の尽力で、多くの生徒が英検に合格し、自信につながっている。非常にありがたいと思う。公立高校ではここまでできないので、これからも明誠の「売り(アピールポイント)」にしていけたらと思う。</li> <li>・英検に真剣に取り組む生徒が増えていると思う。引き続き、放課後などの指導を続けてほしい。</li> <li>・1年次から英検への意識が高くなっている。部活顧問とも連携が取れており、うまく受検できるようになっている。</li> <li>・3年間で何度もチャンスがあるので校内英検制度は廃止すべきである。</li> <li>・今までは良かったから、これからも良いというわけではないと思う。振り返りと検証をしてほしい。</li> <li>・英検合格に向けて多くの生徒が努力しており、英語の学力が向上した。ただ、ライティング・スピーキング(2次)対策に割く時間が多く、英語科教員の負担が大きい。</li> <li>・高校1年生の段階から小論文もしくは志望理由書への意識づけが必要だと思う。そのために生徒が将来どうなりたいかを早めに把握する時間をとりたい。</li> <li>・基礎学力の定着については年間を通して実践していきたい。</li> <li>・特に普通科で、高2時点から土曜日を生かして「小論文」や「自己分析」をしていきたい。</li> <li>・Larkの使い方を生徒たちが全く理解していない。連絡ツール(グループ Line のようなもの)としてではなく、使い方を周知させ、学習の補助となる授業配信等を行うべきである。</li> <li>・動画配信は元々勉強習慣のある生徒にとっては大きくプラスに働いていた。一方、習慣のない生徒には何の影響も与えられず、持ち腐れになっていた。単に動画を見ればよいというわけではないが、動画を見させる方法と見る習慣をつけさせる方法とのセットでないと良い効果は期待できない。</li> <li>・今年は授業の補助教材として You-tube や HP を使って有効利用できたと思う。</li> <li>・授業の不足分を補うための配信授業等を実施することができた。</li> <li>・配信授業や補講等是一部の教員が行っていて、教員間の熱意の違いが大きい。そのため、一部の教員に負担が集中していると思う。</li> <li>・映像授業配信を追加するならば他の業務を削減したい。時間のない中ですべてやっても中途半端なものしか作れない。</li> <li>・オンライン授業も、そもそも困難(課題)が山積みであり、面倒なことは若手任せ、挙句の果てはもともと非協力的なベテラン教員の存在と、問題だらけである。しかし、この問題を解決する動きや流れは1年間特になかった。</li> <li>・ICTを行うために最低限の設備を整えたい。全教室にプロジェクター、スクリーンの設置をお願いしたい。</li> <li>・ICT教育について。各教室に Wi-fi が設置されているのはよいが、すべての教員が使えない現状は改善してほしい。各クラスにプロジェクターとスクリーンを設置してほしい。</li> <li>・ICT教育推進と教員サポートを含めた環境整備が他校にくらべ5年以上立ち遅れている。</li> <li>・Wi-fi環境が整ったとはいえ、活用できていない。全くと言っていいほど活用されなかった。</li> </ul>	<p>A</p> <p>12.5%</p> <p>B</p> <p>87.5%</p> <p>C</p> <p>0%</p> <p>D</p> <p>0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「9時まで学習」や英検指導など、生徒の学力向上につながっていると思う。</li> <li>・「9時まで学習」は先生方の努力の賜物だと思うが、リモート等、これからの時代にふさわしい効率重視の取り組みにも力を入れていただきたい。</li> <li>・「9時まで学習」について、毎年大変感謝している。ありがたい。ただ、細かな体制などについては、ぜひ、「チーム明誠」で取り組めるように考えていただきたい。</li> <li>・英検2級の取得者をさらに増やしてほしい。</li> <li>・英語の教科が底上げされ、そして英検も好成績。大変でしょうが、これまで以上に頑張っていたいただきたい。</li> </ul>

		<p>⑨平常時も家庭学習を充実させるため、インターネットを利用した授業配信が実施できるように環境を整備し、配信を実施して学力の定着と向上に努める。</p> <p>⑩ICTを利用したオンライン授業(双方向授業)が実施できるように環境を整備し、オンライン授業実施に備える</p>	<p>⑦〇各教科において、大学入試共通テストに向けて定期テスト等の工夫を行っている。</p> <p>⑧〇感染症対策措置のため休校となった際には授業動画の配信を行い、学力の定着と向上に努めた。</p> <p>⑨〇環境が徐々に整備され、各教科ともに計画的な授業動画の配信を行った。</p> <p>⑩◇Wi-fi環境の全教室整備が行われた。感染症対策による休校が明けてからは授業進度を優先したため、双方向でのオンライン授業を実施するには至らなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-fi環境が整ったので、授業のできる幅が広がった。</li> <li>・動画を撮ることに注力し、日々の授業が疎かになってしまったら意味がない。教員による動画配信ではなく、スタディサプリを使った方が効果的ではないか。どうしてあるものを使わないのか。また、動画配信において、若手にやらせればいいという発言はどうかと思う。</li> <li>・ICTに関しては現在本校の現場でどのように活用できるのか、いつからなのか等、先が見えてこない。配信授業も双方向なのか動画配信なのか明確でない。これらを本気でやろうとするなら、授業時間数や部活顧問等の人的な問題を整理しない限り、全て中途半端で終わってしまう。現在は旧式、従来通りのスタイルで指導している。</li> <li>・国語の「論理エンジン」の活用効果についての検証は難しい。併せて「論理エンジン」に替わる表現教材の検討を進める必要がある。</li> <li>・「論じエンジン」を利用するのは主に高1であるが、ここから高3の小論文・現代文の指導に果たしてつながっているだろうか。高2の間に通年でなにかできることをやっていたら高3秋の国公立大学の推薦入試でもっと勝負ができるのではないか。</li> <li>・「9時まで学習」に対する3年部の負担が大きすぎる。手当も大きく減額された中でモチベーションの維持は大変である。3年部や進路課だけにするのでなく、日直と同じような形にできないものかと思う。</li> <li>・「9時まで学習」に対する教員手当は検討すべきである。完全に教員の善意によって運営されている。また、学習塾では22時、23時まで自習室を開放している。やる以上はそれらとの差別化を図りたい。</li> <li>・「9時まで学習」を毎日実施するのは大変だと思う。週2、3回にしたらどうか。</li> <li>・「9時まで学習」の高1・2年生までの参加拡大を検討してほしい。毎年、入学当初「高3のみ」を知らずに残っている生徒もいる。意欲はある。</li> <li>・「9時まで学習」の事前指導が充分と言えないのが残念だった。</li> <li>・相変わらず、特定教科・教員に負担が重くなっている状況が続いている。英検指導をはじめ講座も小論文指導も「学校の進路指導」という観点で考えるべきである。教科・学年が独自で考えて実施するには限界がある。学校としての取り組みができないものか。</li> <li>・「朝学習」を行っているが、朝の時間がタイトすぎて、他のことに手が回らないことがある。実施するのであれば3学年統一で行うべきである。</li> <li>・共通テストの質(出題内容)がかなり変わった。対策を考える必要があるが、現状のスタッフではかなり厳しい。</li> </ul>		
<p>Ⅱ 進路指導 の充実</p>	<p>進路希望の達成に向けたきめ細かな指導</p>	<p>①進路講話や個別面談、総合的な学習等(キャリア教育の推進を含む)により目標設定と進路意識の早期確立を図る</p> <p>②教員の教科・進路指導の力量向上を図る</p> <p>③教科検討会で模擬試験結果の検討を行い、生徒各個人に対応した指導を行う</p> <p>④生徒の満足度の高い進路指導を行い、大学への現役合格達成を図る</p> <p>【現役合格 95%】</p>	<p>①〇スタート時の休校措置で個別面談の延期などハブニングはあったが、再開後の各学年団の熱心な指導で目標への意識付けに問題はなかった。</p> <p>〇コロナ禍で各学年の進路ガイダンス等が延期・中止となったが、2年生の学部・学科説明会は年明け1月にオンラインで24大学、対面で6大学、計30大学に参加して頂いた。各ブースで生徒たちは熱心に説明を聞き、進路目標の設定・進路意識の高揚に大きな意義があった。</p> <p>〇1年生は外部講師による進路講演を実施したが、示唆に富む内容で生徒は勿論、学年団教師からも好評で今後も継続していきたい。</p> <p>〇◇1学年は『スタディーサポート活用BOOK』等、複数の進路教材を例年以上に積極的に活用し、進路学習に生かすことが出来たが、テキストを絞った方がより効果が生まれるとの意見もあった。</p>	<p>A 22.7% B 63.6% C 12.1% D 1.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の合格率だけを見れば、現役合格が増えた結果はとても望ましい。</li> <li>・文理選択の基準や考え方が毎年異なる。特に、理数コースに明確な考え方を共有していかなければならない。</li> <li>・「部活をやるための総文」のようなイメージや考え方も変えていかなければならない。「部活で呼んだ生徒だから」という理屈は進路指導と何らの依存関係はなく、むしろプレーキを掛け、指導の流れを断ち切るものとなっている。ある生徒から「指定校推薦ではなく、自力で入試を突破するのは(ある意味)損だ」という旨の発言もあった。このような発言については教員側にも責任の一端がある。せめて、一般受験に向かう大多数の生徒をバカにするような意識を生徒が持つことがないように指導していく必要がある。</li> <li>・総合文系コースの「指定校」ありきの考え方は問題である。レベルに合っていない生徒が英数科の生徒よりよい(難度の高い)大学に行っている(進学している)。進路に関して非常に受け身なので、その考え方を変える指導が必要である。また、総合文系の担任が部活の関係で面接や志望理由書などをあまり見ることができず、偏った負担を強いられる教員もいる。負担が大きかったと思う。</li> <li>・総文の生徒への指定校の決め方に疑問を感じる。模試の結果で「偏差値〇〇以上だとこのレベルの大学」というようにレベル分けをするべき。学力に見合わない指定校をもらい、その後も努力する姿は見えなかった。</li> <li>・教員側が「早く決めて終わらせる」という気持ちを持っていたら、それは生徒へも伝わってしまうと思う。</li> <li>・指定校推薦であるが、校内英検を通過できなかった生徒に対する指導は再考しなければいけない。</li> <li>・進路課を中心に学年全体、学校全体の進路指導についての指針があるといい。教員(担任)によって指導に差(違い)が出るのには疑問を感じる。</li> <li>・教員の熱意のたまものである。(クラス編成など)学校の方針に従ってはい、成果は出ない。</li> <li>・生徒数の多いクラス担任の負担が大きすぎる。きめ細やかな指導するには時間がどうしても足りない。働き方改革が叫ばれる中でシステムの再構築が必要である。35人以上のクラスには副担任を必ずつけるなど。</li> </ul>	<p>A 12.5% B 87.5% C 0% D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒と先生の間で進路の話ができていえると思う。</li> <li>・現役合格へのこだわりが学校教育の基本だと思う。進路指導について、外部や民間の教育情報を取り入れて、更に充実を図っていただきたい。</li> <li>・大学のオープンキャンパスへの積極的な参加をもっと働きかけてほしい。保護者の意識も変わってくる。</li> <li>・結果を見ると、生徒自身の努力もあったが、先生方の尽力のおかげだと思う。</li> <li>・分野ごとの卒業生の講話が実現できるととても良いと思う。</li> <li>・高校1年次からの大学に対する意識づけが大切だと思う。</li> <li>・細やかな指導の積み重ねが3年後に結果として現れてくるのだと思う。</li> </ul>

		<p>②◇昨年の夏季駿台研修には、若手を中心に11名の職員が参加したが、本年は夏季休業の日程変更などで、参加することが出来なかった。</p> <p>◇経験があり指導力のある教員の指導方法・ノウハウの共有化を図るためにも、各教科で授業研究の回数をより増やしたい。また、『明誠ダイアリー』を活用したPDCAサイクルの確立が、学力伸長と進路実現につながることを職員の共通認識としたい。</p> <p>③◇外部模試後の分析・検証の機会が持てなかった。</p> <p>④○四大志望者の大学現役合格率は97%で目標の95%を上回った。浪人も昨年の27名に対して、12名(在籍数の3.3%)で「現役主義の明誠」の目標達成となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべて担任による指導でもっているのが現状である。検討しなければ共有することもない。学校としての方針だけで中身はとも不安定ではないか。</li> <li>・進路指導はよくやっている方だと思う。分野ごとに卒業生が語る学部や就職に関するイベント(講話)があってもよい。</li> <li>・総合選抜型・学校推薦型は「部活」「勉強」だけではない「+α」の能力が求められる。様々な活動を通して生徒が主体的に「+α」の力を身につけさせることが必要である。</li> <li>・各学年とも学年集会を開く機会が少なかった。学年の「導く力」が不足していると思う。</li> <li>・「トップ10」入りを目指すための教員組織と体制があった方が(整えた方が)よい。</li> <li>・校風なのか、学年指導が中心となっているため、進路指導が分掌業務としてはやや薄れているような感がある。</li> <li>・大学を「知る」機会は多くて良いが、「深める」機会を作らなければならない。高1で「知る」→高2で「深める」+「志望校決定」という流れを作りたい。</li> <li>・1年次から大学を意識させることが必要である。3年生から1年生に教室で大学合格までの流れを伝えさせるなどした方がより理解につながる。</li> <li>・1・2年次から大学調べ等の進路や将来に向けた準備活動をもっと取り入れていく必要がある。</li> <li>・キャリア教育に(間違った形で)傾倒しすぎて(いるのか)、「将来になりたいものがない」ということが勉強しない言い訳になっている時がある。(今のやり方では)必ずしもキャリア教育を推し進めるの必要性を感じない。</li> <li>・高校3年生になってから、焦りだす生徒が多いと思う(進路・資格など)。小論文の指導も1年生のうちから実施していくべきである。</li> <li>・生徒自身の志望校についてもっと早い時期からイメージを持たせる手立てをする必要がある。</li> <li>・進路に対する判断ができるような基礎的な理解力と考える力が必要である。授業や定期テストの内容に反映させるべきであった。</li> <li>・「総合的な探求の時間」をどう活用するか学校としての方針を明確にする必要はないだろうか。</li> <li>・土曜日の授業はキャリア教育などの方がいい。</li> <li>・国公立大学前期試験で小論文が必要となった生徒が一度も担当教員のところに来なかった。志望校が決定し、個別で対策が必要な生徒が複数いるが、十分に指導できているか不安である。</li> <li>・模試で各教科・科目の対策や検討がしたい。自身にそうした経験値が少ないので、是非共有できる機会がほしい。</li> <li>・模試の問題は各教科の教員がしっかり解くべきである。特に若手。</li> <li>・志望理由書、小論文講座は定着しつつある。学年ではなく、学校としての取り組みという形で行っていくのがよい。</li> <li>・毎年言われていることであるが、進路実現に向けた指導の共有化がなかなかできず、進まない。</li> </ul>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">難関大学等の合格に向けた指導</p>	<p>①国公立大学及び難関・中堅私立大学に合格できるような学習・進路指導を推進する</p> <p>国公立大学の総合型・学校推薦型選抜にも積極的に挑戦する</p> <p>【第3学年 進路目標】</p> <p>東大・京大・国公立大医学部 →5名以上</p> <p>旧帝大 →12名以上</p> <p>国公立大 →80名以上</p> <p>(静岡大・静岡県立大・静岡文芸大 →40名以上)</p> <p>早・慶・上 →10名以上、</p> <p>GMARCH・東京理科・関関同立 →80名以上</p> <p>②旧帝プロジェクト(上位層の強化)</p> <p>③共通テスト対策講座</p>	<p>①○本年度は、国公立総合型選抜・学校推薦型選抜の合格者が17名と昨年の合格数7名を大きく上回った。これは学年団・国語科の先生方のご尽力、学研小論文講座の積極導入が要因として考えられる。(学年団や国語科の負担を軽減するために、他学年・他教科の先生方に指定校推薦などの指導にご協力を頂けたことも大きい)。前期49名、後期5名を加え71名(昨年60名)の合格はここ数年で最大で、在籍数に対する国公立合格数20%越えも4年ぶりであった。また地元の静大(10名)、静岡県立大(13名)と二年連続二ヶ塔合格を達成したことも成果として挙げられる。私大は、引き続き合格者の絞り込みと安全志向における併願増の影響で厳しい戦いが予想されたが、MARCH・東京理科・関関同立は、現役53と昨年並み(59)であった。</p>	<p>A 19.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大学の合格者数は毎年一定数輩出できている。</li> <li>・すばらしい成果である。一方、来年度以降も継続するために受験指導(対策)をベテラン教員からしっかり教授していただくと思う。</li> <li>・合格実績はとても良いと思う。「9時まで学習」が生かされている。</li> <li>・結果は出ているが、学年または各個人(教員)の指導力(による)が中心。その個人(教員)も中堅以上の指導力によるところが大きい。若手の指導力向上、実力のある教員の採用、進路指導に教員が専念できるような業務内容の仕分け、教育課程の再編などに取り組む必要がある。</li> <li>・進路課中心で様々なことに取り組むことができている。3年の特別講座を受け持つことができる時間的な余裕がもう少しほしい。</li> <li>・地元(国公立大学)に特化した指導も必要ではないか。数を出すことの必要性も理解しているが、生徒や保護者が何を求めて明誠に入ってくるのかも含め、進路指導のみならず、事後に検証していくことが必要である。毎年、反省する間もなく、次年度は始まり、教員はその場、その場での対応になってしまっている。</li> <li>・進路指導のメソッドを学校全体でもっと共有してほしい。</li> <li>・なぜ実績がよくなったのかについて(検証と)共有がない。せっかく良い結果が出たのだから、(そのノウハウを)共有して次年度以降につながるようにすればいいのと思う。この紙面でも、毎年様々な意見が出されているが、「出して終わり」の繰り返しである。</li> <li>・文系選抜は最後まで苦しかったが、何とか結果に結びつけることができた。</li> <li>・2年英数科ではトップレベルを集めた特別補講によって授業では扱えない高いレベルの内容を取り扱うことができた。</li> <li>・該当学年だけでなく、教科指導等よくやっている教員が多いと思う。</li> </ul> <p>B 66.7%</p> <p>C 9.1%</p> <p>D 4.5%</p>	<p>A 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標は高いほどよく、特に難関大学への志望は早いほどよいと思う。指導のご努力が合格結果に表れていると思う</li> <li>・学力トップ層の充実を図りたい。</li> </ul> <p>B 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年よりも学力差は少なくなってきたと思う。</li> <li>・先生方の工夫した沢山のご指導に感謝している。</li> </ul> <p>C 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内進クラスは中学からの教育課程が続くので、先取り学習などの中学から入学していることのメリットを感じられるような学習進度やカリキュラムでの工夫があると良いと思う。高3での時間的な余裕があれば、生徒や先生にとって良い影響が出てくると思う。</li> </ul> <p>D 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立学校は進学実績が収入(生徒募集)に直結すると思うので、成績上位層への指導は効果的だと思う(少しの指導で効果は大きいのではないかと)。</li> </ul>

		<p>○現役合格 国公立大学 → 京都大 1 名、一橋大 1 名、北海道大 1 名、名古屋大 1 名、筑波大 2 名、千葉大 1 名、東京学芸大 2 名、横浜国立大 1 名、静岡大 10 名、静岡県立大 13 名、国公立大学計 71 名合格。難関私立大学 → 慶応大 2 名、上智大 3 名、明治大 3 名、青山学院大 3 名、中央大 8 名、法政大 1 名、東京理科大 3 名、関西大 1 名、関西学院大 5 名、同志社大 4 名、立命館大 20 名 計 53 名</p> <p>②○◇最難関大学に挑戦する学カトップ層への指導は、英語・数学で継続して実施され成果につながった。指導はベテラン職員によるものであったが、ノウハウを継承するためにも、中堅・若手職員も参加しチームでの受験指導体制を構築すべきである。</p> <p>③○各教科とも放課後の個別指導には積極的に取り組んで頂けた。また「9 時まで学習」を利用して、国語・数学で定期的に共通テスト対策を意識した講座を実施して頂いた。</p> <p>○2 月の二次対策講座は、コロナ感染症対策を徹底し、希望制としたが、65 名の生徒が参加した。コロナ禍であっても学校に登校して自学習に励む生徒が多かった。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方国公立大学で結果を出すことはできたが、やはりまだ足りない。共通テストの対策とそれに対応するカリキュラムやシラバスを教科ごとに見直す必要がある。</li> <li>・合格者数も大事だが、その内訳を見たい。また、学年別の取り組みのみでなく、学校(全体の縦割り)での取り組みや仕組みがあった方がいい。</li> <li>・東大・京大・国公立医学部等の大学に合格することが年々難しくなっている。プロジェクトチームを作り、1 年次から鍛えるような方法しかないのではないかと。あまり好ましいとは思わないが。</li> <li>・志望理由書は担任が見るべきである。また、共通テスト対策講座、2 次対策講座、3 年に上がる際の講座のあり方を見直すべきである。</li> <li>・放課後指導の負担が大きい。「志望理由書」は、はじめは担任が見るべきで、体裁や表現程度は国語科教員がやる必要はない。</li> <li>・総合選抜型入試や学校推薦型入試に対する学年ごとの指導項目や取り組みをさらに組織立って実施する必要がある。また、進路課職員を中心に受験大学の傾向や試験内容を分析・整理する。</li> <li>・国公立大学の総合選抜型入試、学校推薦型入試の合格者を増やそうとするなら、計画的に取り組む必要がある。特に、高 1 時点から志望校または研究したい内容を決定し、それらに関する活動をどれだけ積み上げられるかが大切である。生徒任せにしておいては(該当生徒は)決して増えない。教員からの働きかけが必要である。</li> <li>・上智・東京理科、MARCH、関関同立に合格可能レベルの生徒を増やしたい。特に、選抜クラスを除く英数科クラスで増加させたい。この学力層を中心に公立大学の合格者数を引き上げることもできるはずである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績上位層の生徒は勉強の仕方を心得ている。中間層の手本になって欲しい。</li> <li>・これからも現役合格を伝統としてご指導いただきたい。</li> <li>・進路指導のエキスパートとされているような人材を募集してはどうか。</li> </ul>
<p>Ⅲ 心豊かで さわやかな 生徒の 育成</p>	<p>社会性や 道徳心の 育成</p>	<p>①礼節を重視し、様々な場面で、マナーや社会的規範意識を育成する。正門一礼や予鈴黙想の励行なども継続して指導する</p> <p>②校外の美化や教室等の整理整頓に対する指導</p> <p>③交通マナーの指導を強化し、地域住民の苦情をなくすとともに交通事故防止を図る 【交通事故 10 件以内】</p> <p>④徳育を強化し、思いやりの心を育成するとともに問題行動の発生を防止する</p> <p>⑤生徒の様子を観察、生徒面談、いじめ調査等を活用して、いじめ行為防止に取り組む</p> <p>⑥スマートフォンの使用法など SNS についての啓発を行い、問題発生を防止する</p>	<p>①○礼節指導を継続して指導した。挨拶は良好である。 ◇校外での社会道徳や 一般常識の一層の向上が必要である。</p> <p>②○サッカー部、陸上部、野球部が自主的な清掃活動により、校内や学校周辺環境美化に貢献した。</p> <p>○トイレ清掃・教室内整理整頓・水回りの清掃指導を実施した。</p> <p>③○全職員による登校時の街頭交通指導により交通安全意識の向上も見られた。生徒課による下校時の街頭指導の実施。 ◇交通マナーについて、地域住民から苦情が時折寄せられた。 ◇【交通事故 13 件】前年度と同様。ほとんどが軽微な事故であるが、重大事故に繋がらないように日常の指導継続。 自転車施錠点検を実施。施錠率率は向上したが、継続指導が必要。</p> <p>④◇問題行動・2 件 2 名</p> <p>⑤○いじめ調査は 3 回(7 月、12 月、2 月)実施した。新型コロナウイルス感染症による休校のため実施時期を遅らせた。いじめに</p>	<p>A 12. 1 %  B 68. 2 %  C 15. 2 %  D 4.5 %</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に挨拶がよくできている。部活の生徒はあいさつがしっかりできている。</li> <li>・生徒のさわやかさが増して、よい環境になっていると思う。</li> <li>・概ね平和だったと思う。すべては多くの教員が目を光らせ、生徒を指導している結果だと思う。</li> <li>・部活動単位での朝清掃、挨拶等気持ちよく取り組む生徒が多いことに感心している。</li> <li>・部活動での清掃活動は本当に素晴らしい。</li> <li>・運動部が指導しているから実践できていることが多い。学校全体で人間性を向上させる取り組みがあるといい。</li> <li>・最近挨拶する一般生徒が少なくなっている。</li> <li>・高 3 生などが校内(敷地内)で自転車を運転しているのを見て、危険だと思った。高 3 年部を中心に指導するとよいと思う。</li> <li>・全校朝礼時の教員による校門指導だが、ただ門から離れたところで話をしているだけの教員もおり、意味があるのかと思ってしまう。人数がある程度いるので、少し歩いた先(新幹線のガード下、駐輪場前の交差点など)に人を配置してもよいのではないか。</li> <li>・教員も含めてポケットに手を突っ込んだままでの指導や会話、あいさつをしているのが目立つ。教員の場合、礼儀的に大人としての振舞ではない。</li> <li>・校歌が歌えない(生徒が結構いる)。</li> <li>・集会時の歌(校歌など)でも少し声が出るとうい。(コロナの問題は差し置いて)</li> <li>・スマートフォンの使用、交通マナー等、指導(改善)の必要はあるが学校全体としては常識の範囲内であり、評価できる。発生した事案について研修報告等を行い、生徒指導スキル向上に役立てたい。</li> <li>・スマートフォンの持ち込み可になって、しばらく経つが大きなトラブルはないと思う。むしろ、教員の指導下ですぐに調べることができるので便利になったと思う。</li> <li>・校内でスマホの使用が見られる。スマホのルールが今一つ曖昧な部分がある。</li> <li>・スマートフォンの持ち込み・使用に関するルールを改めた方がいい。グレーになっていることが多いため、学校外でも問題になることが多いと思う。</li> </ul>	<p>A 0 %  B 100 %  C 0 %  D 0 %  %</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通学の生徒は学校付近ではマナーを守っているかもしれないが、学校から離れると並進走行をよく見かける。とても危険である。少しうるさい位の指導が必要である。</li> <li>・交通マナーについては一層の努力をお願いしたい。</li> <li>・自転車マナーは悪い。</li> <li>・全校朝礼時の教員指導について学校から少し先での指導をお願いしたい。</li> <li>・スマホに関して決めたルールがあるとしても、厳重な指導をお願いしたい。</li> <li>・部活の生徒だけが、さわやかな挨拶ができるというのではダメである。</li> <li>・あいさつはよくできていると思う。引き続き取り組みを徹底させてほしい。</li> <li>・校歌をきちんと歌えるように教え、指導してほしい。</li> <li>・明誠の生徒は他校に比べ挨拶に定評がある。</li> <li>・部活生徒のあいさつはよくできている。</li> </ul>

	<p>【いじめ調査年3回実施、学校生活アンケート年3回実施】</p> <p>⑦教員の生徒指導力、クラス経営力向上のための研修（救急救命法、人間関係構築、カウンセリング、コーチング等）の研修を実施する</p>	<p>関する調査、イモカードの活用はいじめの防止に役立った。</p> <p>⑥スマホ安全・安心講座を実施。藤枝署生活安全課による生活安全講座実施</p> <p>⑦救急救命法の実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホを校内で使用する生徒を多く摘発指導した。「持ち込み可」とした結果が良い方向に働いたとは思えない現状である。昼休み等に校内を巡視する教員を増やすぐらいしか抑制の方法はないのか。</li> <li>・スマホ持ち込みが許可されたが、校内で使用する生徒も増えた。担任だけでなく全教員で指導する必要がある。</li> <li>・部活だけの清掃活動ではなく、普段の清掃をしっかりとやらせる必要がある。</li> <li>・部活としての清掃と学校での清掃にギャップがなくなれば(さらに)良いと思う。</li> <li>・部活動の朝練で登校する生徒の規定外の防寒着が注意しきれないほど多い。</li> <li>・あいさつ、清掃、自転車マナーなど表面上はできていると思うが、細かく見てみると疑問が残る。</li> <li>・あいさつを返せない生徒が増えているのではないかな。</li> <li>・まずは教員の意識を改めるべき。教員個々の「普通」と考えるレベル(基準)が違いすぎている。</li> <li>・形を教える。そのことは同時に心を耕すことである。心の耕しをもっとやっていきたい。例えば、あいさつのできる生徒とできない生徒の差は大きい。あいさつについて全校で考える機会があってもよいのではないかな。</li> <li>・教員のマナーが悪いと思うことが多々ある。よく話題に上がる物の管理はもちろんだが、使いっぱなしにする、ゴミが落ちていても気にならないなど、気になる。細かいことだが、コピー用紙の秋袋や箱がそのまま放置されていたり、職員室前の机の上に誰の管理かわからないものがずっと置いてあったりする。生徒に片付けや整理・整頓の指導をする前に、自分も含めて教員が改善しなければいけない点が多いと感じる。自分自身も常に気をつけなければと思う。</li> <li>・学校は社会に出るための力を身につける場所である。友達先生はよろしくない。</li> <li>・全員で清掃するのは良いかもしれないが、監督しきれない。監督者も一緒になって床を水拭きしたりして自らの手を汚すことも必要である。</li> <li>・毎週水曜日の管理職の点検に合わせるような清掃では本来あるべき姿ではない。毎日しっかりとやるべき。見えないところにも目を配る。</li> <li>・普通科の生徒の授業に対する姿勢がよくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒全員の挨拶の徹底を指導してほしい。</li> <li>・いじめの撲滅について生徒の意識を高める取り組みをお願いしたい。</li> <li>・最近、少し生活指導が緩んでいるように感じる。</li> <li>・明誠中学生は先輩を毎日見て学校生活を送っている。もっと高校生・先輩としての自覚をもってほしい。</li> </ul>
<p>基本的な生活習慣の確立</p>	<p>①欠席や遅刻等の減少を図る。</p> <p>②正しい身だしなみの指導を徹底する</p> <p>【学年全体風紀指導年6回実施】</p> <p>③ジャージ・サマーセーター等の着用指導を徹底する</p> <p>④基本的な生活習慣の指導を職員の共通理解のもとに実施する</p> <p>⑤校則の遵守</p> <p>⑥新型コロナウイルス感染症対策の実施</p> <p>・マスクの着用・手洗い、うがい・手指アルコール消毒・教室の換気等の習慣化を図る</p>	<p>①○各クラスに手指消毒薬の導入と教室の換気等を徹底させた。</p> <p>②○学年校風指導を学年団の意思統一のもとで6回実施した。服装面で大きな乱れもない。</p> <p>○【学年全体校風指導年6回実施】</p> <p>③○基本的な生活態度はある程度確立されていた。体育、清掃・作業時以外のジャージ着用は見られない。</p> <p>○乙女塾の実施等、女子指導は充実してきた。</p> <p>◇さらに職員の指導の共通性を図りたい。</p> <p>④遅刻等の減少には至らなかった。</p> <p>⑤○生徒は校則をおおむね遵守していた。</p>	<p>A</p> <p>19.7%</p> <p>B</p> <p>63.6%</p> <p>C</p> <p>7.6%</p> <p>D</p> <p>9.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみ、着こなしがキレイな生徒が多い。校風は多くの生徒が守っていると思う。</li> <li>・改善も悪化もしていない。マスクの着用を生徒同士で呼びかける様子が見られたのは良かったが、目の届かないところではすぐ外してしまうことの裏返しとも取れる。</li> <li>・他の公立・私立学校に比べれば基本的な生活習慣はよくできていると思う。</li> <li>・毎日行っている放課後の換気や消毒がよくできている。ただし、生徒がマスクをしていないことが多い。もっと危機感を持たせる必要がある。</li> <li>・マスク着用の指導はできている。</li> <li>・マスク着用、昼食時の黙食指導の徹底が必要である。</li> <li>・コロナ禍でのマスク着用指導をもっと徹底していきたい。特に、普通科。</li> <li>・冬は寒くて教室の寒気ができていないクラスがいくつかあった。朝開けても、休み時間に生徒が閉めてしまう。</li> <li>・マフラーについて自由なのか学校指定のものだけなのか、指導を徹底すべきである。また、学校指定のマフラーは全く暖かくない(ほぼタオル)ので、改善した方がいい。</li> <li>・マフラーは指導が十分できてない。</li> <li>・登下校時の服装がバラバラである。寒くて上着の下にウインドブレーカーを着させたりするなら、ある程度のルールを決めて解禁してもいいと思う。マフラーやコートなどのオプション(自由購入)品は高い。わざわざ新しいものを買うのは家庭にとって非経済的である。</li> <li>・教員の服装・身だしなみを徹底させるべきである。ジャージなどで授業している教員も多く、生徒としては不満もあるのではないかな。</li> <li>・年に6回実施している校風検査の基準が甘いと思う。もちろん現代の意見や時代の流れも取り入れていかないといけないが、卒業式で3年生のパーマや乱れた髪にはがっかりした。普段できていないことはここというときにもできないと痛感させられた。</li> <li>・校風検査の基準が教員間・学年間で統一されていない。</li> <li>・校風検査に関しては教員間で(基準・指導)の差がある。共通認識が必要である。</li> <li>・校則についても検討する必要があると思う。校風(髪型)が厳しすぎる。時代に合わせてもいいのではないかな。</li> <li>・時代の変化とともに校則改訂には前向きに取り組まなければならないと思う。生徒に考えさせるべき。教員からの押し付けでは次代を生きる人材の育成にはつながらない。</li> </ul>	<p>A</p> <p>0%</p> <p>B</p> <p>100%</p> <p>C</p> <p>0%</p> <p>D</p> <p>0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの生徒も身だしなみは良い。校風(髪型)は基準が厳しいのではないかな。また、クラスによって差がある。</li> <li>・身だしなみは全体的によいと思う。</li> <li>・校則(身だしなみ)について教員全員で基本的な事(基準)の徹底を図り、共通の認識の下で指導していただきたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策には感謝したい。</li> <li>・卒業式での乱れた髪・パーマが本当なら、大変残念である。</li> </ul>

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に校則を大きく守らない生徒がいるわけではないが、基準について検討する余地がある。校風検査も「その場しのぎ」になっている。時代の変化に沿うような基準にする必要がある。</li> <li>・メンタルが弱い生徒の遅刻を改善する手立てがないのが現状である。</li> <li>・乙女塾の存在意義(理由)が不明である。女子の部活動は充実しているし、その時間を削ってまで実施する必要はない。また、ヨガを指導するのは、なぜ女子だけなのか。乙女塾で実施しているものは、女子だけが知っていればいいというものではない。時代に合っていない。</li> <li>・乙女塾の需要と供給がアンバランスではないか。</li> <li>・乙女塾を普通科女子のみの実施ではなく、英数科にも行った方がいい。</li> <li>・乙女塾はネーミングを考えた方がいいのではないか。普通科のみに限らず、希望生徒が受けられるようにすべきではないか。</li> <li>・LGBTQという状況も考えられるので、多様性を認める必要がある。乙女塾という名前もどうか。名前を変え、男子生徒も受講できるようにしたらどうか。</li> </ul>			
	<b>部活動の充実</b>	<p>①学習と部活動の両立を一層推進しつつ、生活面での指導も強化することにより、心身を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う</p> <p>【部活動加入率 80%以上】</p> <p>②県大会や全国大会への出場及び各大会での上位進出を果たす</p> <p>【県大会出場～全ての部、全国大会出場～4部】</p>	<p>①〇多くの生徒が部活動に加入している。</p> <p>〇【部活動加入率約 76%】</p> <p>〇各部のテスト前の集団学習が活発であった。</p> <p>〇各部とも積極的な活動が行われた。</p> <p>〇試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組ができるようになってきた。</p> <p>◇登下校時の服装、早朝時の自転車走行(併進、右側走行、一時停止)について指導、早朝時の登校服装注意。</p> <p>②〇サッカー部の全国高校選手権大会出場をはじめ、チアリーディング部の全国大会1位の活躍。野球部の秋季県大会優勝、春季県大会優勝、県選手権でのバスケットボール部2位、陸上競技部東海地区大会出場等。また、多くの部が県大会に進出する活躍を見せた。</p> <p>〇【県大会出場:ほとんどの部、東海地区大会:3部、全国大会出場:2部】</p>	<p>A</p> <p>39.4%</p> <p>B</p> <p>53.0%</p> <p>C</p> <p>4.5%</p> <p>D</p> <p>3.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良いと思う。よく頑張っている。文化部、運動部問わず、よく活動している生徒が多い。テスト期間(直前を含む)中に学習会を部活動単位で実施する等、よい習慣だと思う。</li> <li>・どの部活でも多くの実績を出している。生徒・指導者とも大変な努力を感じる。</li> <li>・授業では学ぶことのできない積極性や集団の意義を教えることができている。</li> <li>・部活動の取り組みやその結果が学校の雰囲気을上げていていると思う。そのような部活の生徒が「文武両道」をしっかりできるような環境を作りたい。</li> <li>・部活動を活発に行っている生徒が多く、良いと思う。しかし、「部活動だけ」という生徒も多く、部活はしっかりやるのに授業はちゃんと受けない(寝る、私語をする)生徒が特に多い。明誠生であつての部活の部員なので、まずは明誠生としてやるべきことをしっかりやらせるようにしたい。</li> <li>・強化する部と(その他の)充実させたい部とで施設的に差がある。</li> <li>・部活指導が教員の負担になっていることがある。休みがないことが「当たり前」になっているのはよくないと思う。</li> <li>・部活顧問の教員は大きな負担を負っている。部活動における各教員の負担軽減を進めてほしい。</li> <li>・「文武両道は一部の子だけですよね」と言った保護者がいた。ショックな一言だった。そうとらえている保護者もいる。それを払拭すべく、やるべきことがあるような気がする。</li> <li>・「勉強と部活の両立」を基本とした生活リズムをもっと意識させる必要がある。</li> <li>・英数科にも部活動ができる環境をつくる必要がある。</li> <li>・遅刻の基準があいまいである。校門ではなく、朝礼(8:10)を基準にすべきである。</li> </ul>	<p>A</p> <p>37.5%</p> <p>B</p> <p>62.5%</p> <p>C</p> <p>0%</p> <p>D</p> <p>0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文武両道は明誠の伝統である。</li> <li>・文武両道で部活に真剣に取り組む様子が見られた。</li> <li>・大変よく努力して、頑張っていると思う。</li> <li>・部活動はよく頑張って成果を上げ、学校の広報的な役割も果たしている。</li> <li>・教員だけでは部活指導に限界がある。外部コーチを積極的に導入していただきたい。また、栄養士やトレーナーについても充実させてほしい。</li> </ul>
<b>IV 広報・渉外活動の充実</b>	<b>効果的な広報活動による学校理解の促進</b>	<p>①広報誌の発行、報道機関への周知等様々な手段を通して、本校教育に対する保護者や地域社会の理解を深める</p> <p>②ホームページ(HP)の更新を積極的に行い、効果的な情報発信を行う。また、学校説明会参加者を増やす情報を提供する</p> <p>【年間訪問者 163,000人以上、直帰率 39%未満】</p> <p>③より本校理解が深まり、募集に効果的な内容にするために、広報誌等の見直しを行う</p>	<p>①〇「明誠ニュース」「進路だより」保護者会広報誌「初心」など予定通り発行した。</p> <p>〇部活動・同好会の様子を紹介し、中学生の多様性に対応できるように努めた。</p> <p>〇保護者会地区会でも出された質問や要望への回答を文書で配布した。</p> <p>②〇HPのアクセス数が大幅に増えた。HPの更新を積極的に行い、内容の工夫も行った。</p> <p>〇2020年4月1日～2021年3月17日のアクセス数 760,306、月平均 63,359。</p> <p>③〇入学式、卒業式、文化祭、体育大会に自治会役員を招いた。</p>	<p>A</p> <p>28.8%</p> <p>B</p> <p>60.6%</p> <p>C</p> <p>4.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良かったと思う。HPの充実度は増している実感があり、評価できる。</li> <li>・渉外は大変苦勞されていると思う。ただ、新入生の情報を確実に学年に伝えてほしいと思うことがある。</li> <li>・HP、学校案内はここ数年で良くなっている。更新回数、内容のブラッシュアップ。</li> <li>・学校内の様子や大学合格実績を保護者や外部の方々によく発信できている。</li> <li>・コロナ禍において、直接来校できるとは限らないなかで、HPは受験生にとって重要な情報源となる。アクセス数の増加にかまけることなく、内容の充実やコンテンツの更新が求められる。順調だと思う。</li> <li>・各説明会で流す動画の作成をもっと計画的に行うべき。1・2週間前では時間が足りず、結局出来栄えに影響が出てしまった。年度初めに渉外課を中心に決めたい。</li> <li>・流す動画の内容も見直したい。「中学生が聞きたいことは?」「何を知らせればお得に感じるか?」に立ち返って、需要と供給がマッチするものを作りたい。それによって説明会にもメリハリが生まれるし、各日程(の説明会)での差別化も図れるのではないかと。</li> <li>・(渉外活動の)どれか削減できないかと思う。</li> <li>・明誠の魅力(ブランド)作りを行いたい。「公立高校&lt;明誠&gt;にさせるためには余程の実績が必要である。</li> <li>・全国の募集に成功している学校のHPや学校案内、パンフレットの分析・研究をしたい。</li> <li>・HPをもう少し積極的に回数を多く更新すべきである。学校案内が更新されていない。</li> </ul>	<p>A</p> <p>25.5%</p> <p>B</p> <p>75.5%</p> <p>C</p> <p>0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・保護者の情報ツールはHPが漸トツだと思う。HPも充実されていると思うが、更なる努力をお願いしたい。</li> <li>・保護者の地区懇談会での質問に対する回答など、ありがたかった。</li> <li>・先生方の努力がうかがわれる。これからも内容を一層充実させ、明誠をアピールしていただきたい。</li> </ul>

		④地域の自治会等への情報提供や学校行事への招待等を積極的にいき、学校理解の促進と広報の推進を図る		D 6.1 % ・HPだけでなくSNSも積極的に活用したらどうか。 ・(本校を)知る機会は多く、よいと思う。HPだけでなく他のSNSを利用したり、メディアにももっと出てもよいと思う。 ・日々の学校行事をHP上に頻繁にUPし、教育活動の「見える化」をもっと実践すべきである。 ・国際教養コースの生徒増を図るためなのか、特殊例(東大合格)を学校案内等に掲載することは誤解を招くリスクがあるのではないか。再考を提案したい。 ・OBやOGに対して支援を期待できる仕掛けを作る必要がある。例として、明誠ニュースの有料化など。	D 0 %		
	積極的な渉外活動の実践	①小中学校への積極的な学校訪問等により募集の拡大を図る。併せて、入学者の増加に有効な方策を具体的かつ速やかに実施する ②焼津・藤枝・島田・榛原・小笠・袋井の各地域の訪問重点校と訪問校を定め、組織的に募集活動を展開する。 ③学習塾への訪問を行い、募集の拡大を図る ④県外募集の充実を図り、有為な生徒の確保に努めるとともに入試内容・方法について見直す ⑤新型コロナウイルス感染症対策を施した上で「一日体験入学」「入試直前相談会」の充実、取り組みの強化を図る 【学則定員の確保】	①◇一日体験入学の参加者は生徒1,678人、保護者1057人、合計2,735人と昨年度より644人増加した。また、1週間後の説明会には生徒73人、保護者60人、合計133人の参加者があった。年間の説明会参加者は生徒2,220人、保護者1,518人となり、昨年度より42人減少した。 ②○志太、榛原地区への中学校訪問を職員で分担し、3年主任や進路指導主事と直接面談して募集拡大を図った。また、通学費補助の対象となる静岡、小笠、袋井地区では重点校を絞り募集活動を行った、さらに、学習塾への訪問を積極的に行った。 ○各中学校が計画する進路学習会への参加依頼は22校(前年+2)であった。 ○○高校入試の志願者・入学者数は、普通科が697人(単願180)、英数科が797人(単願125)、合計1,494人(単願303)となり、入学者は昨年度より5名減少した。併願者の戻り33名を含め入学者は338名となり、学測定員385名に満たなかった。併願者の戻りは過去最低のレベルであった。 ③◇福岡奨学生入試オープンは、受験者が63人(昨年比60人減、コロナ感染対策のため)、単願合格者はいなかった。併願合格者の中には本校入学に前向きな生徒もいたが、入学には至らなかった。学習特待生の入学につながるような方策を検討する必要がある。札幌奨学生入試は、受験者が0人。札幌一般入試は、受験者が1人であった。	A 36.4 % B 48.5 % C 9.1 % D 6.1 % ・各説明会での参加生徒・保護者が多いと思う。 ・学校説明会が沢山開催されていたし、参加者も各日程で思ったよりも多かったのは評価できると思う。しかし、説明の内容は毎回ほとんど同じで、2回、3回と足を運んでくださる方にとっては意味が薄いと思う。各説明会で差別化をした方がいいのではないか。 ・志太榛原地区の私学の進学校としての良さをもっと(前面に)出してもよいと思う。学校訪問やイベントを通して認知度は高まってきている。 ・秋ごろ、高2・1の生徒が直接説明をしてくれる機会があったが、正直各教室(会場)(の担当者)に任せる部分が多く、差があったと思う。せっかくの機会なので、ただテーマを絞り、話してもらうのではなく、事前に担当教員と生徒が何回か打ち合わせをするなど、事前準備に時間をかけたい。この説明で「あ、このコースに入りたい」と強く思ってもらえる決め手となるようなインパクトがほしい。もったいない機会だったと思う。 ・各イベントの効果について検証すべきである。 ・新入生に対して入学のきっかけとなった行事、ツールなどのアンケートを取り、入学の要因の分析・検証をするべきである。 ・地区説明会の集客効率が悪い。直前説明会への集客が不十分である。英数科単願生徒の一本釣り化が必要である。科・コース説明会を廃止すべきである。 ・渉外活動を多くの教員が行うべきである。生徒募集の内容をもっと知るべきである。 ・女子生徒が入学しやすい学校にしていく必要があると思う。 ・県外入試を継続するのであれば、受験者や入学者が増える渉外活動の見直しと学校の魅力をもっと増やしていきたい。 ・県外入試は見直した方がよい。準備や業務は受験者数・入学者数を考えると割に合わない(一般論目線だが)。必要なのか疑問に思う。 ・札幌の募集活動は八方ふさがりで、改善できる要素が見つからない。 ・地元の生徒が(もっと)単願受験するような魅力が欲しい。九州や札幌の入試は疑問である。 ・(県外募集は)部活での募集で良いではないかと思う。 ・難関国公立大学合格実績等をもっとPRし、積極的な広報戦略として活用してもらいたい。	A 25.0 % B 75.0 % C 0 % D 0 %	・現役の生徒による部活動のPRなどを充実させてほしい。 ・さらに積極的な中学校訪問をお願いしたい。また、卒業生および保護者の紹介を考えてみてはどうか。	
V 教育施設・設備の活用	安全で快適な教育環境の実現	①学習活動や部活動が安全かつ快適に実施できるよう常に配慮する。 本館東館2階～6階の男女トイレの床乾式化・洋式化工事を8月に実施した。特に、便座裏の清掃を徹底させる	①○毎水曜日早朝に理事長点検を実施し施設の安全を確保した。 ②○◇清掃活動に力を入れた。水場・トイレ・階段の清掃状況は安定しているが、改善された点と不十分な点の両面が見られた。 ③破損箇所の報告と修繕は迅速に行われている。 ④◇消灯、空調のスイッチオフ等の節電については、日直の最終点検で指摘される回	A 12.1 % B 54.5 % C 5 %	・毎日の点検はしっかりできている。比較的破損する箇所が少なかったように思う。 ・教室や公共スペースの清掃活動・整頓状況は年々改善されてきている。残念なのは空調の問題。 ・教室や設備がよく整っていると思う。(これにより)勉強や部活以外の(生徒の)積極性を見ることができている。 ・トイレの改善は生徒・保護者から好評だった。キレイに洋式化されてよかった。次は、空調・電気系統の見直しをお願いしたい。 ・トイレが良くなったことで、与える印象がとて上がったと思う。 ・机が新しくなり、トイレも洋式化されたので生徒がとて喜んでいて。 ・ペーパーレスにするために健康動向調査をスマホで実施したい。また、教員によって新型コロナウイルス感染症の感染対策への意識が異なっている。 ・少しずつ教育環境は改善されつつあるが、黒板やチョークの質はとて悪い。最も大事なことだと思うが。	A 0 % B 100 %	・清掃は毎日が勝負なので気を抜かないでしっかり指導することが必要である。 ・防災については、やはり実際に行動に移す訓練をやっていただきたい。 ・新型コロナウイルス感染症も2年が経過したが、感染力が強いので、基本的な手・指消毒などの指導を徹底させてほしい。

	<p>②清掃状況を具体的に指示し学年主任や清掃担当と協力して清掃指導の徹底を図る。また事後の点検を行う。さらにポリッシャー清掃を推進する</p> <p>③破損箇所の把握と迅速な修繕を図る</p> <p>【6月・11月・2月の一斉点検実施】</p> <p>④電気、紙等の節約を励行し、経費と資源の有効活用を心がける</p> <p>⑤消灯、戸締まりの徹底を図る</p> <p>・トレーニングルームの使用について注意・説明会を行う</p> <p>・不備のあった施設の管理担当に報告することに加え月単位で集計し全体に報告することで施設管理の徹底を図る</p> <p>⑥地震発生時の避難や防災に関する訓練・学習会を実施し、生徒の安全を確保する</p> <p>⑦新型コロナウイルス感染予防対策として全職員で分担して毎日消毒作業を実施する</p> <p>⑧原子力災害に対する避難計画を作成する</p>	<p>数が減少しつつある。紙の節約などは学習活動との関連もあり削減までは至らない。</p> <p>⑤◇校舎施設、特にトレーニングルームについては全部活動の生徒と顧問を前期後期に集め使用上の注意を実施した。徹底できないが未施設の件数は減少している。</p> <p>⑥○5月に防災避難訓練、8月に防災学習を実施し、防災意識を高めた。</p> <p>⑦放課後等、教員による消毒箇所を決め、できる限りの消毒作業を実施している</p> <p>⑧○防災マニュアルを常時活用できるように生徒手帳に添付にした。</p> <p>◇原子力災害に対する避難計画は未作成であった。(藤枝市の指針が未発表のため)</p>	<p>C 22. 7 % D 10. 6 %</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教室を使う一日体験や高校入試などがある。全教室の床のポリッシャーがけを1年間の中で行った方がいい。</li> <li>・教室によって床の状態が違って、ポリッシャーをかけてもすぐに汚れてしまう教室もある。</li> <li>・清掃が不十分である。</li> <li>・体育館の雨漏りは大変危険である。</li> <li>・冷暖房の早期改善。これに尽きる。できないのであれば冷暖房費は取らない。矢面に立たされている教員の気持ちを考えてほしい。</li> <li>・教室によってエアコンの効き方に差がある。生徒や保護者からの苦情も多い。</li> <li>・空調設備が機能していない。最優先で対応する必要がある。</li> <li>・エアコンの未修理、AV機器などの不備が多い。ICT教育はかなり遅れをとっている。視聴覚室や図書室をもっと機能的にするべきである</li> <li>・エアコンの不調はどうにかしてほしい。教室によっては送風機や石油ヒーター等の対応を取っていたが、あまりにも貧相だった。教室の数も足りず、図書室前で授業をしている集団もある。学習環境が整っていないと感じた。</li> <li>・面接指導ができるような個室(のような区切られた空間)などがあってもいいと思う。学校全体の人数に対して教室が少ないので、そういった臨時に使える場所が必要だと思う。</li> <li>・日直の教員の施設に対する意識が教員によって差があることが問題だと思う。新任教員とベテラン教員のペアで行う(ことがある)が、良い連鎖だけでなく負の連鎖が起きることもある。新任教員に対して、4月に一斉に指導するタイミングがあってもよいのではないかと。理想論だが。</li> <li>・職員室の照明が暗すぎる。</li> <li>・東館を有効活用するために改築を望む。1クラス35人以下とするための教室の確保(も必要)。</li> <li>・トレーニングルームのシャットが曲がっていて、危険である。</li> <li>・トイレが改善されたことはよかったが、女子生徒(女子職員も)が増えてきているので女子トイレを増やしてほしい。</li> <li>・東館のトイレの改修もお願いしたい。体育館周りのトイレにまだ不便さが残っている。</li> <li>・日直による点検がなされているのか疑問に思う時があった。「9時まで学習」があると徹底して見回りをしない教員がいた。</li> </ul>	<p>C 0 % D 0 %</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心な教育環境の整備をよろしく願いたい。</li> <li>・トイレの改修は大変ありがたい。</li> <li>・トイレの乾式・洋式化はありがたかった。7階男子トレの小便器を改善してほしい。</li> <li>・改善点は生徒のために一つひとつ願いたい。</li> <li>・学校からの保護者宛配付物(プリント類)は生徒経由だと確実に手元に届かない。できれば、「さくら連絡網」でのファイル添付をお願いしたい。「学年だより」類も写真がカラーで見やすいと思う。</li> <li>公立小学校では便りはほとんどがメールで送られる。休校や学級閉鎖時も確認しやすく便利である。これから入学する生徒・保護者はこれがスタンダードだと思う。</li> </ul>
--	---	---	--	--	--